

南足柄市かながわ自主防災航空 ドローン活用で協定



市役所屋上での試験飛行を視察する市長と議会関係者

南足柄市は 18 日、民間団体「かながわ自主防災航空」との間で、災害時の情報収集に無人航空機「ドローン」を活用する協定を締結した。締結式のあと、山口代表が市役所屋上で試験飛行を披露し、加藤修平市長ら市幹部が性能などを視察した。

市が、かながわ自主防災航空と結んだ協定は地震や風水害などの災害が発生した際、市の要請により山内さんら同会の会員がドローンを使い、上空から被災状況にまつわる画像や映像を撮影して市に提供するもの。

この日の協定締結式に先立ち山口さんは今月 16 日、市役所でドローンに関する講習会を開き、職員 14 人に活用事例や関係法規法令を説明した。